

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
【発行日】令和 4 年 4 月 6 日(2022.4.6)

【公開番号】特開 2020-101299(P2020-101299A)  
【公開日】令和 2 年 7 月 2 日(2020.7.2)  
【年通号数】公開・登録公報 2020-026  
【出願番号】特願 2018-237858(P2018-237858)  
【国際特許分類】

F 2 5 D 21/08(2006.01)

10

F 2 5 D 11/00(2006.01)

F 2 5 D 11/02(2006.01)

F 2 5 D 17/06(2006.01)

【F I】

F 2 5 D 21/08 Z

F 2 5 D 11/00 1 0 1 B

F 2 5 D 11/02 Z

F 2 5 D 17/06 3 1 5

F 2 5 D 17/06 3 0 4

20

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 25 日(2022.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

冷凍温度帯の冷凍貯蔵室と、該冷凍貯蔵室を冷却する蒸発器と、該蒸発器と熱交換した空気を前記冷凍貯蔵室に送風する遠心型ファンと、前記蒸発器と前記遠心型ファンが実装される冷却風路空間と、前記遠心型ファンを加熱するファン加熱手段と、を備えたことを特徴とする冷蔵庫。

30

【請求項 2】

請求項 1 記載の冷蔵庫において、前記遠心型ファンは後向きファンであることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 記載の冷蔵庫において、前記遠心型ファンの温度を検知するファン温度検知手段をさらに備え、前記ファン温度検知手段は、前記冷却風路空間内の前記遠心型ファンの回転軸方向投影領域内にあることを特徴とする冷蔵庫。

40

【請求項 4】

請求項 3 記載の冷蔵庫において、前記ファン温度検知手段は、前記遠心型ファンを構成する部品の一部に接触していることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 5】

請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の冷蔵庫において、前記遠心型ファン近傍に第二のファン加熱手段を備えていることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 6】

請求項 5 記載の冷蔵庫において、前記第二のファン加熱手段を、前記冷却風路空間内であって、前記遠心型ファンの回転軸方向投影領域内に設置することを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 7】

50

請求項 5 記載の冷蔵庫において、前記第二のファン加熱手段は、前記遠心型ファンを構成する部品の一部に接触していることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 8】

請求項 5 記載の冷蔵庫において、前記第二のファン加熱手段と前記冷凍貯蔵室の間に真空断熱材を備えたことを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 9】

請求項 5 ないし 7 のいずれかに記載の冷蔵庫において、前記ファン加熱手段または前記第二のファン加熱手段による加熱は、0 より高い所定温度に到達した際に停止されることを特徴とする冷蔵庫。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題に鑑みてなされた本発明の冷蔵庫は、冷凍温度帯の冷凍貯蔵室と、該冷凍貯蔵室を冷却する蒸発器と、該蒸発器と熱交換した空気を前記冷凍貯蔵室に送風する遠心型ファンと、前記蒸発器と前記遠心型ファンが実装される冷却風路空間と、前記遠心型ファンを加熱するファン加熱手段と、を備えたことを特徴とする。

10

20

30

40

50